



## 平成 23 年度海老名市予算案の概要

# 「確実な都市経営をつなぐ予算」

～明日へ、未来へ、元気なまちづくりのために～

平成 23 年度の当初予算は、依然として続く円高やデフレ、さらには厳しい雇用情勢などの影響を受け、非常に厳しい編成作業となりました。また、国の地域主権改革に向けた「投資的補助金の一括交付金化」（地域自主戦略交付金）が平成 24 年度には市町村にも導入される見込みであり、今後の地方財政を取り巻く状況は極めて不透明であります。

市税収入の低迷が続く中であっても、「持続可能な都市経営」の理念のもと、「今、市民が何を求めているか」を再度徹底的に検証し、速やかに実施すべき事業や将来への投資となる事業を、どのように組み合わせて展開することが最も効果的であり、効率的であるのかという戦略的な視点に立ち、予算編成に取り組みました。

そして、「元気なまちづくり」を明日へ、そして未来へ力強く続けるという思いを込め、「確実な都市経営をつなぐ予算」と名付けさせていただきました。

### 1 予算規模

平成 23 年度一般会計の予算規模は 376 億 8 百万円（前年度比 7 億 78 百万円、2.1%の増）となり、2年連続のプラス予算となりました。市庁舎を建設した昭和 63 年度を除くと過去最高となりました。

特別会計を加えた総予算規模は、587 億 5 百万円（前年度比 15 億 74 百万円、2.8%の増）となっております。なお、老人保健医療事業特別会計は、平成 22 年度限りで廃止いたします。

（単位：千円、％）

会 計 名		平成 23 年度 当初予算額 (A)	平成 22 年度 当初予算額 (B)	比較 (C)=(A)-(B)	対前年度 伸 率 (C)/(B)*100
一般会計		37,608,000	36,830,000	778,000	2.1
特別会計	国民健康保険事業	11,912,421	11,568,273	344,148	3.0
	下水道事業	2,969,143	3,031,686	△ 62,543	△ 2.1
	老人保健医療事業	—	2,271	△ 2,271	皆減
	介護保険事業	5,265,577	4,814,531	451,046	9.4
	後期高齢者医療事業	949,392	883,977	65,415	7.4
	小 計	21,096,533	20,300,738	795,795	3.9
合 計		58,704,533	57,130,738	1,573,795	2.8

## 2 一般会計歳入の状況

市税全体では 204 億 86 百万円(前年度比 51 百万円、0.3%の増)となりましたが、景気低迷により、個人市民税が大幅な減少(前年度比3億 43 百万円、4.1%の減)となりました。

元気なまちづくりのために、市債(25 億 38 百万円)と新まちづくり基金繰入金(9億 79 百万円)をバランスよく活用します。

(単位:千円、%)

	予算額		比較		構成比	
	H23 年度	H22 年度	増減額	伸び率	H23 年度	H22 年度
市税	20,486,320	20,434,876	51,444	0.3	54.5	55.5
うち個人市民税	7,984,157	8,326,774	△ 342,617	△ 4.1	21.2	22.6
うち法人市民税	1,295,694	969,172	326,522	33.7	3.4	2.6
地方譲与税及び各種交付金	1,942,078	1,975,998	△ 33,920	△ 1.7	5.2	5.4
国庫支出金	6,947,927	5,571,041	1,376,886	24.7	18.5	15.1
うち普通建設事業費充当分	1,196,682	1,265,288	△ 68,606	△ 5.4	3.2	3.4
県支出金	1,916,456	2,091,888	△ 175,432	△ 8.4	5.1	5.7
繰入金	1,011,327	1,584,433	△ 573,106	△ 36.2	2.7	4.3
うち新まちづくり基金繰入金	979,423	1,263,333	△ 283,910	△ 22.5	2.6	3.4
市債	2,538,400	2,913,000	△ 374,600	△ 12.9	6.7	7.9
その他	2,765,492	2,258,764	506,728	22.4	7.4	6.1
歳入総額	37,608,000	36,830,000	778,000	2.1	100.0	100.0

- 市税のうち個人市民税は、改善されない雇用状況が、就業人口に影響し、納税者数の落ち込みや所得額の減少とあいまって、景気低迷の影響を本格的に受け始めております。
- 国・県からの譲与税・交付金は、19 億 42 百万円で、前年度比 34 百万円、1.7%の減となりました。これも景気低迷の影響によるものです。
- 国庫支出金は 69 億 48 百万円で、前年度比 13 億 77 百万円、24.7%の増となりました。子ども手当国庫負担金の増が主な要因です。また、普通建設事業費充当分は、11 億 97 百万円で前年度比 69 百万円、5.4%の減となりました。
- 繰入金は 10 億 11 百万円で、前年度比 5 億 73 百万円、36.2%の減となっています。これは、新まちづくり基金からの繰入金が前年度比 2 億 84 百万円の減となったほか、財政調整基金の取り崩し(平成 22 年度: 3 億円)を行わないことなどによるものです。
- 市債は 25 億 38 百万円で、前年度比 3 億 75 百万円、12.9%の減となっています。適債事業には市債を積極的に活用することとしましたが、いわゆる赤字地方債とされる臨時財政対策債は発行いたしません。
- いわゆるハード事業に市債や基金を活用することにより、ハード事業に充てる一般財源を、他の事業に振り向け、一般財源で行っているソフト事業の継続・充実を図っております。

### 3 一般会計歳出（目的別）の状況

総務費は、前年度に比べて1億73百万円、3.3%の増、民生費は、16億69百万円、13.5%の増、教育費は、1億46百万円、3.1%の増となった一方、土木費は、前年度に比べて11億28百万円、18.9%の減、消防費は、1億60百万円、8.4%の減となりました。

（単位：千円、％）

	予算額		比較		構成比	
	H23年度	H22年度	増減額	伸び率	H23年度	H22年度
議会費	375,946	292,994	82,952	28.3	1.0	0.8
総務費	5,381,151	5,207,839	173,312	3.3	14.3	14.1
民生費	13,994,504	12,325,148	1,669,356	13.5	37.2	33.5
衛生費	2,799,942	2,782,062	17,880	0.6	7.4	7.6
労働費	234,820	234,902	△ 82	△ 0.0	0.6	0.6
農林水産業費	339,279	277,582	61,697	22.2	0.9	0.8
商工費	370,126	430,002	△ 59,876	△ 13.9	1.0	1.2
土木費	4,836,571	5,964,667	△ 1,128,096	△ 18.9	12.9	16.2
消防費	1,742,349	1,902,445	△ 160,096	△ 8.4	4.6	5.2
教育費	4,902,409	4,756,057	146,352	3.1	13.0	12.9
災害復旧費	9,300	10,000	△ 700	△ 7.0	0.0	0.0
公債費	2,415,328	2,445,719	△ 30,391	△ 1.2	6.4	6.6
諸支出金	156,275	150,583	5,692	3.8	0.4	0.4
予備費	50,000	50,000	0	0.0	0.1	0.1
歳出総額	37,608,000	36,830,000	778,000	2.1	100.0	100.0

- 総務費の増加は、（仮称）市民活動支援施設建設事業費やコミュニティセンター大規模改修事業費の増が主な要因です。
- 民生費の増加は、子ども手当（児童手当）支給事業費（事業費30億97百万円、前年度比5億45百万円増）や生活保護費支給事業費（事業費21億3百万円、前年度比4億83百万円増）の増などが主な要因です。
- 土木費は48億37百万円（前年度比11億28百万円減）となりましたが、海老名IC開通に伴う関連道路網の整備や、海老名駅自由通路整備（駅間部）事業など、快適に暮らせるための都市基盤施設の充実に向けた多くの事業を実施していきます。
- 教育費は49億2百万円（前年度比1億46百万円増）となりました。（仮称）食の創造館整備事業（事業費4億26百万円、前年度比2億14百万円増）に本格的に取り組むほか、中学校給食推進事業（事業費74百万円、前年度比49百万円増）の全校実施や特別支援教育充実事業の拡充（事業費73百万円、前年度比13百万円増）などにより、ハード・ソフト両面にわたる児童・生徒の学習環境向上に取り組んでまいります。

#### 4 一般会計歳出（性質別）の状況

義務的経費は190億15百万円(前年度比13億23百万円、7.5%の増)となり、消費的経費は102億31百万円(前年度比8億41百万円、9.0%の増)、投資的経費は56億98百万円(前年度比15億23百万円、21.1%の減)となりました。

(単位:千円、%)

	予算額		比較		構成比	
	H23年度	H22年度	増減額	伸び率	H23年度	H22年度
義務的経費 (1)+(2)+(3)	19,014,536	17,691,747	1,322,789	7.5	50.6	48.0
(1)人件費	7,448,032	7,480,713	△ 32,681	△ 0.4	19.8	20.3
(2)扶助費	9,055,087	7,686,772	1,368,315	17.8	24.1	20.9
(3)公債費	2,511,417	2,524,262	△ 12,845	△ 0.5	6.7	6.9
消費的経費 (4)+(5)+(6)	10,231,003	9,389,957	841,046	9.0	27.2	25.5
(4)物件費	6,090,750	5,354,971	735,779	13.7	16.2	14.5
(5)維持補修費	604,231	540,030	64,201	11.9	1.6	1.5
(6)補助費等	3,536,022	3,494,956	41,066	1.2	9.4	9.5
投資的経費 (7)+(8)	5,697,607	7,220,570	△ 1,522,963	△ 21.1	15.1	19.6
(7)普通建設事業費	5,688,307	7,210,570	△ 1,522,263	△ 21.1	15.1	19.6
補助	2,476,167	5,011,603	△ 2,535,436	△ 50.6	6.6	13.6
単独	3,212,140	2,198,967	1,013,173	46.1	8.5	6.0
うち他団体負担金	8,375	15,450	△ 7,075	△ 45.8	0.0	0.0
(8)災害復旧事業費	9,300	10,000	△ 700	△ 7.0	0.0	0.0
その他の経費	2,664,854	2,527,726	137,128	5.4	7.1	6.9
歳出総額	37,608,000	36,830,000	778,000	2.1	100.0	100.0

- 財政硬直化の要因となる義務的経費は、前年度13億23百万円、7.5%の大幅増となっております。人件費と公債費の減額を大きく上回る扶助費の増加によるものです。
- 扶助費は、子ども手当（児童手当）支給事業費や生活保護費支給事業費の増加、さらには、福祉や医療施策の充実や対象者の増などにより、13億68百万円、17.8%の大幅な増となっております。少子高齢社会の進行や景気低迷に伴い、今後も増加が見込まれます。
- 物件費は、学校給食費の公会計化に伴う学校給食調理経費（3億73百万円、皆増）や図書館運営を市直営から民間委託することなどにより、60億91百万円(前年度比7億36百万円、13.7%増)と大幅に増加しました。
- 普通建設事業費は、前年度比15億22百万円、21.1%の減となりましたが、海老名IC開通に伴う関連道路網の整備や、(仮称)市民活動支援施設建設事業、海老名駅自由通路（駅間部）整備事業、心身障がい者デイサービスセンター建設事業、さらには、(仮称)海老名市食の創造館整備事業など、都市基盤整備から教育、文化、福祉など、多方面にわたるハード整備を実施します。

## 5 基金及び市債残高の推計

平成 23 年度末の基金残高は 63 億 38 百万円(前年度末比8億 58 百万円、11.9%の減)、また、市債残高は 382 億 44 百万円(前年度末比3億 48 百万円、0.9%の増)となる見込みです。

(単位:千円、%)

	平成 21 年度末		平成 22 年度末		平成 23 年度末	
	金額	金額	伸び率	金額	伸び率	
基金残高	7,723,448	7,195,719	△ 6.8	6,338,167	△ 11.9	
財政調整基金	2,321,247	2,504,498	7.9	2,517,046	0.5	
新まちづくり基金	4,532,355	3,754,453	△ 17.2	2,799,361	△ 25.4	
その他基金	869,846	936,768	7.7	1,021,760	9.1	
市債残高	36,663,062	37,895,878	3.4	38,243,935	0.9	
一般会計	21,609,864	23,018,177	6.5	23,532,535	2.2	
下水道事業	15,053,198	14,877,701	△ 1.2	14,711,400	△ 1.1	

【参考:市民一人あたり残高】

(単位:円、%)

	平成 21 年度末		平成 22 年度末		平成 23 年度末	
	金額	金額	伸び率	金額	伸び率	
基金残高	61,333	56,960	△ 7.1	50,172	△ 11.9	
財政調整基金	18,433	19,825	7.5	19,924	0.5	
新まちづくり基金	35,992	29,719	△ 17.4	22,159	△ 25.4	
その他基金	6,908	7,415	7.3	8,088	9.1	
市債残高	291,148	299,975	3.0	302,730	0.9	
一般会計	171,608	182,207	6.2	186,278	2.2	
下水道事業	119,540	117,769	△ 1.5	116,452	△ 1.1	

※平成 22 年度末及び平成 23 年度末における市民一人当たり残高を推計するに当たり、平成 23 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳人口(126,330 人)を用いて算定しております。

- 平成 23 年度は、社会資本整備総合交付金対象事業や農業振興助成事業、道路用地購入事業などの財源として、新まちづくり基金から 9 億 79 百万円繰り入れる予定です。なお、財政調整基金から繰り入れは予定しておりません。
- 平成 23 年度末の市債残高は、平成 22 年度末残高に比べると若干の増加が見込まれますが、基金と市債をバランス良く活用することにより、双方とも後年度のまちづくりに十分活用できる余力を確保しております。なお、平成 23 年度もいわゆる赤字地方債とされる(※)臨時財政対策債は発行いたしません。

### (※)臨時財政対策債

地方債の一種であり、国の地方交付税特別会計の財源が不足した場合に、地方交付税の総額を減らし、その穴埋めとして、地方公共団体自らに地方債を発行させる制度。地方債を発行する形式を取るが、その元利償還金は後年度の地方交付税で措置されるため、実質的には地方交付税の代替財源とみて差し支えない。

なお、海老名市における平成 23 年度の発行可能額は約 12 億円と見込まれますが、当市は普通交付税の不交付団体あり、元利償還金は地方交付税で措置されず、自主財源で賄うこととなるため、平成 18 年度から発行しておりません。

## 6 特別会計予算の概要

### (1) 国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計は、少子高齢社会の進行、長期間に及ぶ景気低迷による低所得者層の拡大などにより、財政運営が年々厳しさを増す状況にあります。

このような状況を踏まえ、医療保険財政の安定を図るため、引き続き保険税収納率の向上、医療費適正化に向けた効果的・効率的な取り組みに努めるとともに、国民健康保険財政調整基金や一般会計からの繰り入れを行い、運営を行います。

予算総額は前年度に比べ3億44百万円、3.0%増の119億12百万円です。

### (2) 下水道事業特別会計

道路及び宅地等の浸水被害を未然に防止するために、雨水幹線等の雨水排水施設を計画的・重点的に整備してまいります。

また、汚水整備においては、市街化調整区域の汚水整備に着手いたします。平成23年度は、南部地域の幹線整備を実施いたします。

維持管理においては、下水道施設の機能を十分に発揮させるため、計画的な点検・補修を行うとともに、施設の延命化を目的に事業計画を策定し、引き続き安全で快適な生活環境の向上に努めてまいります。

下水道を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、今後10年間で重点的に整備する具体施策について、平成22年度に引き続き、下水道総合計画（下水道中期ビジョン）を策定いたします。

予算総額は前年度に比べ63百万円、2.1%減の29億69百万円です。

### (3) 介護保険事業特別会計

本市の介護保険事業は、3年ごとに作成する介護保険事業計画に基づき推進しております。平成23年度は第4期事業計画の最終年として、制度改正に伴う実績を検証し、充実した介護保険事業となるよう進めてまいります。

高齢化率の上昇と制度の浸透により、要介護認定者は更に増えており、介護保険事業特別会計の規模も年々大きなものとなっております。

今後も、高齢者の暮らしを支える社会保障制度の中核として、住み慣れた地域や住まいで、自立した生活を送ることができる支援とするため、保険給付の適正化と健全な財政運営に努めてまいります。

予算総額は前年度に比べ4億51百万円、9.4%増の52億66百万円です。

### (4) 後期高齢者医療事業特別会計

平成20年度に75歳以上の方を対象として、制度が施行されました。しかしながら、国において社会保障改革の推進の観点から、税制改革と一体による制度改革を検討しております。

市といたしましては、新制度への移行までの間は、現行制度が円滑に運用されるよう、広域連合等とも十分な連携を図り、責務を果たしてまいります。

予算総額は前年度に比べ65百万円、7.4%増の9億49百万円です。

## 7 主要事業の概要

### (1) 明日、そして未来の均衡ある発展を目指したまちづくり

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
1	駅周辺対策課	海老名駅自由通路整備(駅間部)事業費	《海老名駅東西一体のまちづくりに向けて》 小田急・相鉄海老名駅とJR海老名駅との間の駅間地区自由通路を現在の幅員4mから12mに拡幅整備します。平成26年度までの4ヶ年継続事業として実施します。 【事業年度：H23～H26年度、総事業費：約29億6,000万円】	285,039	新規
2	都市整備課	土地区画整理事業の継続的な促進	《良好な市街地形成へ向けて》 海老名駅西口地区においては、特定保留区域内における土地区画整理組合設立に向けて引き続き支援いたします。 運動公園周辺地区及び本郷・門沢橋地区においては、市街化区域編入に向けて、事業化方策を検討いたします。	84,393	継続
3	道路整備課	中央地区歩車共存道路(38号水路上部利用)の整備	《水路上部の道路整備》 現在のオープン水路をボックス化し、水路上部を道路として整備することにより、歩行者の安全及び中心市街地としての賑わいの形成を図ります。	60,000	新規
4	駅周辺対策課	社家駅周辺整備事業費	《南部地域のまちづくりの拠点として》 JR相模線社家駅前広場を整備することにより、歩行者と車両の分離を図り、安全性・利便性を向上させ、市南部の拠点としてふさわしい駅前に整備します。	28,025	継続
5	道路整備課	圏央道海老名IC関連道路の整備	《道路網整備による住環境の改善》 海老名ICに対応した道路網整備により、生活道路に流入している通過交通に対処し、住環境の改善を図ります。 平成23年度は中新田地内において、幅員16mの新設道路市道53号線バイパスのJR横断部施工委託に着手するとともに、市道6路線の改良工事を実施します。	1,012,918	継続

### (2) 未来の海老名を担う元気な子どもたちの健やかな成長に向けて

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
6	子育て支援課	子ども医療費(旧小児医療費)助成事業費	《中学校修了前までに拡充》 未来の海老名を担う子どもの育ちを支援するため、通院・入院の医療費助成対象を所得制限なしで中学校修了前までに拡大します。 中学校修了前までの拡充は県内市では初であり、平成23年4月から実施いたします。	520,686	充実
7	子育て支援課	私立幼稚園就園奨励及び援助事業費	《私立幼稚園就園奨励の拡充》 国庫補助事業として幼稚園就園奨励費(所得制限あり)を支給するとともに、市単独事業として幼稚園就園奨励費(所得制限なし)を支給します。平成23年度は、保護者のさらなる負担軽減を図るため、就園奨励費の単価引き上げ(第1子)を実施します。	195,646	充実

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
8	学校支援課	特別支援教育充実事業費	《補助指導員等の拡充》 特別に教育的支援の必要な児童・生徒に向け、教員の派遣など個々に応じた支援を行うことにより、学校生活への円滑な適応を図ります。平成23年度は、補助指導員（17名→19名）、介助員（26名→29名）、日本語指導学級講師（3名→4名）の拡充により、さらなる充実を図ります。	73,030	充実
9	社会教育課	えびなっ子サマースクール事業費	《夏休みの居場所づくりの拡充》 平成21年度から実施している「えびなっ子サマースクール」は、従来の7月下旬だけでなく、新たに8月末の4日間を加え、計11日間実施いたします。	7,837	充実
10	学校教育課	(仮称)海老名市食の創造館整備事業費	《「食」をキーワードとした多機能施設の整備》 学校給食だけでなく、幼稚園児や高齢者を対象とした給食事業、災害時の炊き出しや市の名産品を開発する場としての機能など、「食」をキーワードとした多機能施設を整備します。 【神奈川県企業庁「地域振興施設等整備事業」を活用】	426,000	新規
11	学校教育課	中学校給食推進事業費	《弁当併用外注方式による中学校給食の全校実施》 平成22年度に試行を実施した、選択による外注方式の弁当給食を6校全校で実施します。	74,274	充実
12	教育総務課	小中学校施設整備事業費	《快適な学習環境に向けて》 施設の老朽化に伴い、校舎・屋内運動場・校舎外壁などの各種設備や施設の改修を早急を実施することにより、児童・生徒の学習環境の向上や安全確保に取り組みます。	324,148	充実
13	文化スポーツ課	体育施設大規模改修事業費（中野多目的広場の整備）	《スポーツ・レクリエーション活動の拠点として》 スポーツ・レクリエーションの活動拠点として、相模川沿いの各スポーツ施設の連携と充実を図り、市民が「いつでも、どこでも、だれでも」が気軽にスポーツができるよう中野多目的広場の拡張整備を行います。平成23年度は用地取得と実施設計を行います。	654,740	新規

## (3) 誰もが安全・安心・元気に暮らせるまちづくりに向けて

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
14	予防課	大規模防災倉庫整備事業費	《大規模災害時の物品や資機材の配備》 大規模災害時に必要な大型資機材及び生活支援物品を備蓄する大規模防災倉庫（280㎡程度）を市北部地区に建設します。また、市南部地区への設置に向けた設計を行います。 これにより、既存のコンテナ型防災備蓄倉庫（51基）との機能分担を図ります。	61,393	新規



(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
15	予防課	少年消防クラブ活動事業費	《将来の地域防災を担う人材育成》 子どもの頃から防火・防災教育を行い、将来の地域防災を担う人材の育成を図るため、小学4年生から中学3年生を対象に少年消防クラブを発足します。	1,346	新規
16	消防総務課	非常備消防強化に向けての施設整備	《非常備消防の強化に向けて》 非常備消防の強化に向けて、消防分団の車両を1台更新します。さらに、第10分団器具置場建設工事及び第14分団器具置場建設工事に向けた実施設計を行います。	49,270	充実
17	市民安全課	海老名市型防犯緊急通報装置の設置	《犯罪抑止に向けて》 安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、犯罪抑止の観点から海老名市型防犯緊急通報装置を2基設置します。設置場所は小学校付近に予定しています。 《実績及び予定：H21（5基）、H22（2基）、H23（2基）、H24～H25（計6基）》	4,658	充実
18	市民安全課	防犯灯再整備事業費	《安全で安心して暮らせる地域社会の実現》 犯罪抑止の観点から水銀灯型40W防犯灯から蛍光灯型32W防犯灯への切り替えを継続して実施します。平成23年度に650灯の切り替え及び100灯の新設を実施することにより、平成19年度から進めてきた切り替えが完了します。	17,459	継続
19	健康づくり課	生活習慣病検診事業費	《市民の健康対策》 生活習慣病の早期発見・早期治療に向けて、各種検診を引き続き実施いたします。	105,988	継続
20	健康づくり課	予防接種事業費	《重症化の予防に向けて》 予防接種法に定められた疾病について予防接種を行い、個人の免疫獲得率を高めます。なお、日本脳炎予防接種の勧奨が再開したため、積極的なPRにより、接種率の向上を図ります。	202,727	充実
21	障がい福祉課	心身障がい者デイサービスセンター建設事業費	《障がい者福祉施設の整備》 望地二丁目のわかば第二デイサービスセンターを平成22年度からの継続事業として、引き続き整備いたします。	123,060	継続
22	障がい福祉課	わかば会館改修整備事業費	《障がい者の拠点施設としての改修》 障がい者の拠点施設として、わかば会館の改修を実施します。 総合相談、在宅支援の拡充を図るとともに、トイレや浴槽の改修を実施します。	44,287	充実
23	高齢介護課	社会福祉施設整備費助成事業費	《入所待機者の解消と施設サービスの充実に向けて》 民間事業者が整備する入所定員120名の特別養護老人ホーム建設に対して助成を行い、施設サービスの充実を推進します。また、グループホームなど地域密着型サービス事業者の施設整備等に対しても助成を行い、高齢者介護の基盤整備を進めます。	76,440	充実

(4) 元気な海老名を目指す産業の活性化に向けて

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
24	農政課	優良農地の拡大及び営農環境の整備	<p>《農業経営基盤の強化に向けて》</p> <p>海老名市農業振興地域整備計画及び海老名市農業振興プランに基づき、営農環境の整備や農用地の効率的な利用を推進します。</p> <p>平成23年度から、新たな農用地区域の指定を受けた土地の所有者に、5年間にわたり、1,000㎡当たり100万円を毎年度交付します。</p>	120,755	新規・継続
25	商工課	中小企業経営安定対策事業費	<p>《中小企業の経営安定の支援》</p> <p>中小企業が事業資金を借りやすくするために、利子補給制度や信用保証料補助制度を、引き続き実施します。</p>	141,076	継続
26	商工課 広聴相談課	市内「ものづくり企業」の連携	<p>《市内企業の技術力・開発力のPR》</p> <p>市内「ものづくり企業」が連携し、記念行事などで配布する物品の開発・製造を行い、市内企業の技術力や開発力などを広くPRするため、市のイベントなどで積極的に活用します。</p>	1,300	新規

(5) 地球に優しい未来を海老名から

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
27	環境政策課	「えびな環境大賞」の創設	<p>《環境保全意識の向上に向けて》</p> <p>環境保全に関する意識の向上及び環境配慮活動のさらなる普及促進を目的として、環境の保全及び創造等の活動に取り組み、市民の模範となっている方々を表彰する「えびな環境大賞」を創設します。</p>	168	新規
28	資源対策課	廃棄物減量化事業費	<p>《生ごみ処理機設置補助の拡充》</p> <p>生ごみ減量化対策の一環として、市民・事業所に対しその購入費用の一部を補助する「生ごみ処理機設置補助」の拡充を図ります。</p> <p>また、既に設置している大型生ごみ処理機の検証を引き続き実施します。</p>	7,767	充実
29	環境政策課	環境保全対策支援事業費	<p>《省エネルギー施設の普及に向けて》</p> <p>太陽光発電施設など、温室効果ガス削減に有効な省エネルギー施設等の普及を促進するため、市民・市内事業者には、導入・設置費用の一部を補助します。</p>	34,024	継続
30	政策事業推進課	えびなの森創造事業費	<p>《地球環境を守る意識を高めるために》</p> <p>平成23年11月の市制施行40周年に向け、市民1人1本に相当する125,000本の植樹を目標として、引き続き事業を推進します。</p> <p>起・承・転・続の「続」として、「森の楽校」を設立し、今後も事業を継承します。</p>	9,259	継続

(6) 市民協働から元気なまちづくりの実現に向けて

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
31	市民協働課	(仮称) 市民活動支援施設建設事業費	<p>《協働のまちづくりの新たな拠点整備に向けて》</p> <p>自立性・自発性に基づいた市民活動の場と、その活動をサポートする機能を併せて提供する新たな拠点施設として、(仮称) 市民活動支援施設を建設します。</p> <p>なお、平成23年度は第一期工事として、「市民活動交流棟」の建設を2カ年継続事業として着手するとともに、第二期工事で予定している「健康増進棟」の設計を実施します。</p>	278,707	継続
32	市民協働課	都市間交流推進事業費	<p>《トライアングル交流の推進》</p> <p>姉妹都市である宮城県白石市との交流活動を推進するとともに、北海道登別市を含めた三市が「トライアングル交流」を実施することにより、災害時の連携強化等を図ります。平成23年度は市民レベルでの交流を目的とし、市民ツアーを実施します。</p>	18,527	充実
33	市民協働課	コミュニティセンターの大規模改修	<p>《誰もが使いやすい施設へ》</p> <p>地域での市民活動の拠点施設であるコミュニティセンターや文化センターを順次リニューアルいたします。平成23年度は中新田コミュニティセンターが秋頃完成するとともに、勝瀬文化センターについては、平成24年度の完成に向けて工事に着手します。</p>	313,772	充実
34	市民協働課	えびな市民まつり事業費	<p>《海老名運動公園を会場として実施》</p> <p>市民相互の連帯意識の高揚と心身の健康増進を目的に、実行委員会が運営主体となり、「えびな市民まつり」を開催します。</p> <p>海老名運動公園を会場として開催し、シャトルバスを運行し移動手段を確保します。</p>	16,664	充実

(7) 「住んでみたい」と思えるような元気な海老名の魅力向上に向けて

(単位：千円)

No.	課名	事業名	事業概要	予算額	備考
35	農政課	動物ふれあい推進事業費	<p>《優しい心や命の大切さを》</p> <p>北海道登別市から友好の証として寄贈された2頭のポニー「チョコエビー」と「ミルクビーナ」を通じ、市民に「癒やし」を与えるとともに、子どもたちには「優しい心」や「命の大切さ」を育む事業を実施します。</p>	18,695	新規
36	商工課	えびな薪能の開催	<p>《歴史と文化のまちの魅力発信》</p> <p>市制施行40周年記念事業として、「相模国分寺史跡地」において「えびな薪能」を開催し、歴史と文化のまち海老名の魅力を発信します。</p>	6,800	新規
37		市制施行40周年記念事業の開催	<p>《記念式典等各種記念事業の展開》</p> <p>平成23年11月1日に市制施行40周年記念式典を実施するほか、年間を通じ、各種記念事業を実施します。既に実施した「消防出初式」や「成人式」と「還暦式」の同時開催をはじめ、「出張！なんでも鑑定団 in えびな」「小・中学校作文コンクール」など全66事業を予定しております。</p>		